

令和7年2月市議会 総務委員会資料

第8号議案 令和6年度長崎市一般会計補正予算（第10号）

目次	ページ
【第2款 総務費 第1項 総務管理費 第6目 財産管理費】	
1 基金積立金	2～12
2 市有財産解体費	13～15

財 務 部

令和7年2月

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
26~27	2 総務費	1 総務管理費	6 財産管理費	1-1	基金積立金	千円 ▲1,690,191

1 概要及び事業内容

(1) 減債基金の積立 ▲1,769,778千円

ア 概要

伊王島ふれあい広場、伊王島海水浴場交流施設、保留地（長崎駅周辺地区）及び市営大園住宅余剰地の土地売払収入が当初見込んでいた金額から変動することにより、減債基金積立金の補正を行うもの。

（内訳）

- ・ 伊王島ふれあい広場及び伊王島海水浴場交流施設の土地売払収入に係る積立金の増 407,506千円
- ・ 保留地売払収入の減による積立金の減 ▲1,721,284千円
- ・ 市営大園住宅余剰地売払収入の減による積立金の減 ▲456,000千円

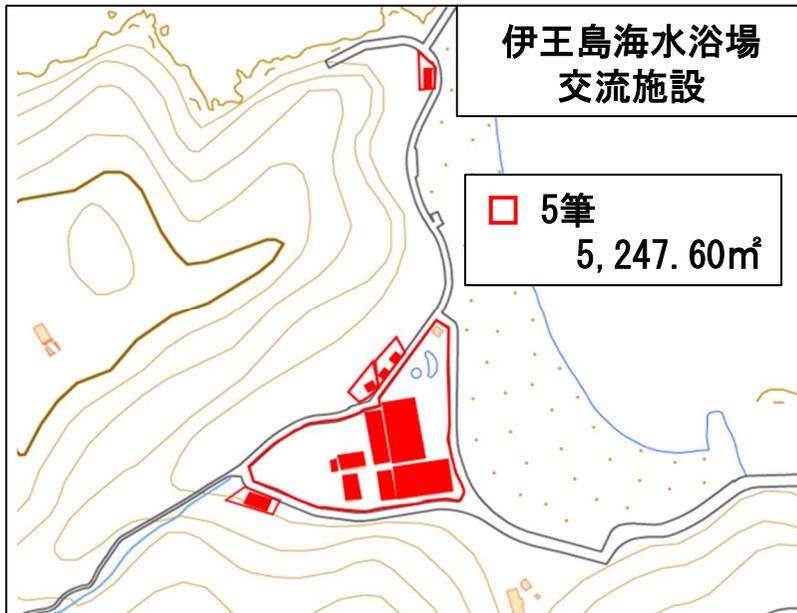
イ 事業内容

（ア） 伊王島ふれあい広場及び伊王島海水浴場交流施設の土地売払収入に係る積立金の増 407,506千円

伊王島ふれあい広場及び伊王島海水浴場交流施設を令和6年度中に売却することに伴い、売却による土地売払収入相当額を減債基金に積み立てるもの。

- ・ 伊王島ふれあい広場（観光政策課） 353,910千円
- ・ 伊王島海水浴場交流施設（水産農林政策課） 53,596千円

伊王島ふれあい広場及び伊王島海水浴場交流施設 位置図



地図：国土地理院

(イ) 保留地売払収入の減による積立金の減 ▲1,721,284千円

保留地売払収入（長崎駅周辺地区）の一部を減債基金に積み立てることとしていたが、1街区及び8街区の一部において売却方法の検討に時間を要し、令和6年度中の売却が困難となったことから、基金への積立を皆減するもの。

【補正内容】

歳入) 保留地売払収入（長崎駅周辺地区）

当初予算額 4,213,500千円 ⇒ 収入見込額 2,380,420千円（差額 ▲1,833,080千円）

歳出) 減債基金積立金

当初予算額 1,721,284千円 ⇒ 見込額 0千円（差額 ▲1,721,284千円）

【対応】

売払収入の減額分1,833,080円のうち、基金積立金充当分を1,721,284千円減額し、残りの111,796千円については、歳入のみ減額する。未売却地については、令和7年度に売却を図る。

当初予算	保留地売払収入(長崎駅周辺地区) 当初予算額 4,213,500千円			
当初予算 (内訳)	長崎駅周辺事業 921,840千円	起債繰上償還 1,422,042千円	一般財源化※ 148,334千円	基金積立金 1,721,284千円
収入見込	長崎駅周辺事業 921,840千円	起債繰上償還 1,422,042千円	一般財源化 36,538千円	一般財源化 111,796千円 ⇒ 0千円
				基金積立金 1,721,284千円 ⇒ 0千円

※ 過年度事業において、一般財源を充当し事業を行っていたことから、同額を措置

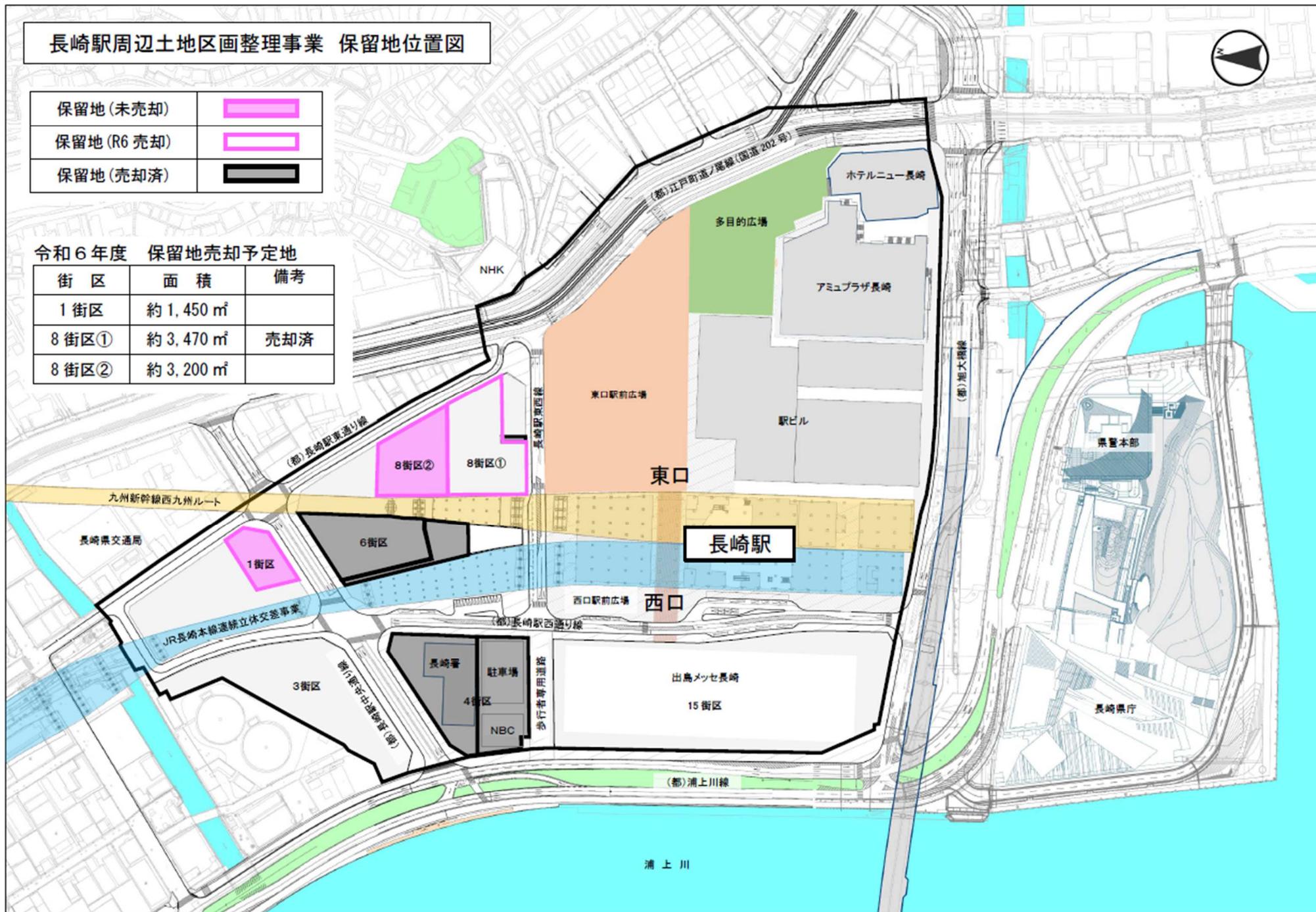
長崎駅周辺土地区画整理事業 保留地位置図



保留地 (未売却)	
保留地 (R6 売却)	
保留地 (売却済)	

令和6年度 保留地売却予定地

街区	面積	備考
1街区	約 1,450 m ²	
8街区①	約 3,470 m ²	売却済
8街区②	約 3,200 m ²	



(ウ) 市営大園住宅余剰地売払収入の減による積立金の減 ▲456,000千円

市営大園住宅余剰地の売払収入を減債基金に積み立てることとしていたが、公募型プロポーザルが不調となり、令和6年度中の売却が困難となったことから、基金への積立を皆減するもの。

【補正内容】

歳入) 土地売払収入 (市営大園住宅余剰地)

当初予算額 456,000千円 ⇒ 収入見込額 0千円 (差額 ▲456,000千円)

歳出) 減債基金積立金

当初予算額 456,000千円 ⇒ 見込額 0千円 (差額 ▲456,000千円)

【対応】

基金積立金充当分を456,000千円減額する。当該土地については、令和7年度に売却を図る。

【土地の概要】

- ・ 位 置 長崎市大園町2005番72
- ・ 面 積 7,875.4m²
- ・ 用途地域 第一種中高層住居専用地域
- ・ 防火地域 指定なし
- ・ 建 蔽 率 60%
- ・ 容 積 率 300%

市営大園住宅余剰地 位置図

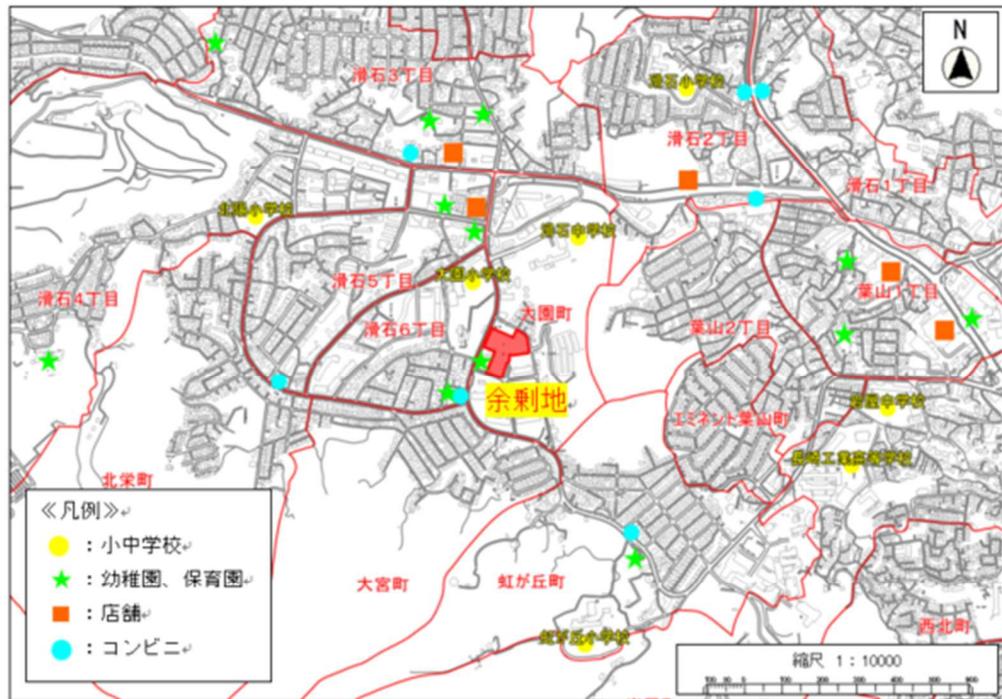


余剰地 位置図

縮尺 1 : 1500



状況写真



大園町周辺地図

ウ 令和6年度基金現況

区 分		R 5 末 現在高	R 6 積立額	R 6 取崩額	R 6 末 現在高
減債基金	①補正前額	千円 6,376,128	千円 2,873,392	千円 5,073,987	千円 4,175,533
	今回補正額		▲1,769,778	▲352,585 [※]	
	②補正後額	6,376,128	1,103,614	4,721,402	2,758,340
③（参考）財政調整基金		12,783,373	2,524,543	4,063,869	11,244,047
合計（補正前 ①+③）		19,159,501	5,397,935	9,137,856	15,419,580
合計（補正後 ②+③）		19,159,501	3,628,157	8,785,271	14,002,387

※今回補正の所要一般財源として減額するもの

(2) 平和基金の積立 31,387千円

ア 概要

平和事業等に活用するために受け入れた寄附金について、30,000千円の寄附を個人から受納したこと等により、当初の見込みを上回ることから積立金の増額を行うもの。

イ 事業内容

平和意識の高揚を図るために要する経費、原爆及び平和に関する資料の収集、保存及び展示に要する経費の財源に充当することを目的に受け入れた寄附金を、平和基金に積み立てるもの。

ウ 令和6年度基金現況

区 分	R5末 現在高	R6 積立額	R6 取崩額	R6末 現在高
補正前額	千円 38,475	千円 3,417	千円 9,500	千円 32,392
今回補正額		31,387	-	
補正後額	38,475	34,804	9,500	63,779

(3) ながさきエコライフ基金の積立 30,000千円

ア 概要

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた事業に活用することを目的として、自治体新電力会社「株式会社ながさきサステナエネルギー」から寄附を受けることとなったため、ながさきエコライフ基金へ積立金の増額を行うもの。

イ 事業内容

自治体新電力会社「株式会社ながさきサステナエネルギー」からの寄附金をながさきエコライフ基金に積み立て、今後の「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた各種事業に活用するもの。

(参考) 株式会社ながさきサステナエネルギーとは

令和2年2月に脱炭素なまちづくりを目的とした自治体新電力会社を長崎市及び地元企業7社が出資し設立。

「再生可能エネルギーの地産地消を推進し、CO2削減を図るとともに、新たな脱炭素化事業を創出することで、地域内資金循環を促し、雇用の創出や地域活性化に繋がる脱炭素なまちづくりを推進すること」を企業理念に掲げている。

ウ 令和6年度基金現況

区 分	R5末 現在高	R6 積立額	R6 取崩額	R6末 現在高
補正前額	千円 36,787	千円 9,514	千円 39,283	千円 7,018
今回補正額		30,000	-	
補正後額	36,787	39,514	39,283	37,018

(4) 火葬場利用環境向上基金の積立 18,200千円

ア 概要

火葬場の利用環境向上に資する事業及び新火葬場の建設整備に要する経費の財源として活用するために火葬場利用環境向上基金に積み立てる残骨灰の売払収入が当初の見込みを上回ることから、積立金の増額を行うもの。

イ 事業内容

火葬場から排出される残骨灰の売却により得られる収入のうち、火葬場の利用環境向上に資する事業に要する経費を差し引いた残額について、火葬場利用環境向上基金に積み立てるもの。

基金積立額：46,200千円（R6年度残骨灰売却見込額）－7,138千円（利用環境向上のためのR6年度支出見込額）
－20,862千円（R6年度当初積立予定額）＝18,200千円

ウ 令和6年度基金現況

区 分	R5末 現在高	R6 積立額	R6 取崩額	R6末 現在高
補正前額	千円 -	千円 20,862	千円 -	千円 20,862
今回補正額		18,200	-	
補正後額	-	39,062	-	39,062

※基金設置日が令和6年4月1日のため令和5年度末現在高及び令和6年度取崩額なし。

2 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
補正前額	千円 6,110,254	千円 —	千円 —	千円 49,400	千円 2,660,829	千円 3,400,025
2月補正	▲1,690,191	—	—	—	▲1,690,191	—
補正後額	4,420,063	—	—	49,400	970,638	3,400,025

※土地売払収入 ▲1,769,778千円
 ※平和推進費寄附金 31,387千円
 ※環境対策費寄附金 30,000千円
 ※残骨灰売払収入 18,200千円

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
26～27	2 総務費	1 総務管理費	6 財産管理費	2-1	市有財産解体費	千円 ▲76,900

1 事業の概要

老朽化による建物の解体

2 補正内容

石綿関連規制が改正されたことに伴い、有資格者による石綿含有分析箇所の特定及び特定された箇所の石綿含有分析調査を行った結果を踏まえ、当初予定していた工事内容を見直し、令和6年度の工事発注を取りやめることとしたことから減額補正を行うもの。なお、令和7年度当初予算に改めて解体工事費を計上のうえ施行することとしている。

工事名	内容	金額
旧三重地区西部住民センター解体工事	老朽化による建物解体	▲76,900千円

3 事業スケジュール

	令和6年度												令和7年度	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
当初スケジュール		→ 石綿含有分析調査	→ 入札準備											
見直したスケジュール	→ 業務見直し		→ 石綿含有分析箇所特定	→ 石綿含有分析調査									→ 入札準備	→ 解体工事

4 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
当初予算	千円 115,612	千円 -	千円 -	千円 69,200	千円 -	千円 46,412
2月補正	千円 ▲76,900	千円 -	千円 -	千円 ▲69,200	千円 -	千円 ▲7,700
補正後	千円 38,712	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 38,712

※ 公共施設等適正管理推進事業債 充当率 90% 交付税措置なし

5 施設概要

名称	旧三重地区西部住民センター
所在地	長崎市檜山町2804番地
建物構造等	鉄筋コンクリート造2階建
延床面積	527.65㎡
建築年月	昭和48年7月（築51年）



出典：国土地理院地図（「当該地」「三重地域センター」及び図形を追記して作成）

敷地全景



建物正面

